

市長コラム



column No.175



小薬正男さん

文 | 笠間市長 山口伸樹



りなんて 生きられない”
 じょうとりの 正男ちゃん
 丸正 代表取締役 小薬 正男 氏

写真／母校の笠間中学校で生徒や保護者を前に講演する、小薬正男さん(2019年2月)

笠間市笠間地区出身で、株式会社丸正東京本社（丸正正男会長が8月にご逝去されました。）の小薬正男（丸正正男会長が8月にご逝去されました。）が15才で東京の町工場に就職し修業を重ね、後にベルト製造の会社を設立しました。さらに海外への事業展開も図るなど国内外を飛び回り、一代で国内のトップメーカーに会社を成長させ「立身出世」をした方です。

一方で、故郷笠間への思いは特に強く、合併後、本市の事業にも多くのご支援をいただきました。

平成21年度から6年間、笠間市青年海外派遣事業（参加者延47名）へ、平成28年度から2年間、市の農業公社が行っている、笠間の栗生産拡大事業にご支援いただき、その間のすべての事業費は寄附により実施させていただきました。

また、本年5月には、「人材育成や産業振興に活用してください」と市に対し1億円の寄附金の提供がありました。ただし広く分配する使い方でない方法でと釘を刺されました。意向に沿った活用をしていきたいと思えます。私も会長とはさまざまな機会を通じて話をしました。自分にも仕事にも大変厳しい方でしたが、美食家でもあり、他人に対する思いやり・人情味のある方でもありました。

人生の大先輩として大変尊敬しており、お亡くなりになられたことはとても残念であります。

会長の故郷への思いをしっかりと受け、市政運営を行っていただくのが一番の供養だと思っています。

今月のピックアップ

防災行政無線
 デジタル化整備を
 行います

令和2年度から3年度までの2か年で、老朽化したアナログ防災行政無線をデジタル方式で更新する整備事業を行います。

【整備内容】

- アナログ電波は2022年11月以降使用できなくなるため、デジタル電波に切り替え
- 市内全域で屋外拡声子局（スピーカー）を整備
- 高性能スピーカーを活用し、放送が届くエリアを広げる
- 戸別受信機は放送が届かないところに限定
- 災害時に災害対策本部と現場が直接通信できる移動系携帯型無線機を整備

令和2年度	令和3年度
<ul style="list-style-type: none"> ・親局操作卓の整備 ・中継局の整備 ・屋外拡声子局友部地区の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外拡声子局笠間、岩間地区の整備 ・戸別受信機の整備 ・移動系携帯型無線機の整備

※現在使用している戸別受信機は、デジタル化工事完了後（令和3年度末）使用できなくなります。防災行政無線や災害の情報、行政情報や携帯電話やパソコンに配信される『かさめ〜る』にぜひ登録ください。

問い合わせ：

総務課危機管理室
 （内線245）



かさめ〜るの登録はこちらから